

令和3年(2021年)社会生活基本調査<総務省統計局>

1次活動は増加傾向、2次活動および3次活動は減少傾向

平日における平均時刻は、起床時刻が6時40分、就寝時刻が23時7分

■はじめに

社会生活基本調査は、1日の生活時間の配分および1年間の自由時間における主な生活行動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的としている調査で、昭和51年(1976年)の第1回調査以来5年ごとに実施されており、令和3年(2021年)調査は10回目に当たります。

全国の世帯から無作為に選定した約91,000世帯に居住する10歳以上の世帯員約194,000人を対象に令和3年(2021年)10月20日現在で実施され、滋賀県では、約1,700世帯を対象に調査が行われました。

令和3年度(2021年度)調査結果が公表されていますので、今月号では滋賀県の「生活時間」*¹および「生活行動」(自由時間における主な活動)*²について紹介します。

*1 令和3年(2021年)10月16日から24日までのうち指定された連続する2日間について、20種類の行動分類による1人1日当たり時間数などについて集計したものです。今月号では15歳以上に関する調査結果を掲載しています。

*2 令和2年(2020年)10月20日から令和3年(2021年)10月19日までの過去1年間の自由時間において該当する活動を行った状況について集計したものです。今月号では10歳以上に関する調査結果を掲載しています。

I 主な調査結果

1. 1日の生活時間

- ・ 1次活動*³は増加傾向、2次活動*⁴および3次活動*⁵は減少傾向
前回調査比で1次活動は16分増加、2次活動は3分減少、3次活動は13分減少

*3 睡眠、食事など生理的に必要な活動

*4 仕事、家事など社会生活を営むうえで義務的な性格の強い活動

*5 1次活動、2次活動以外で各人の自由時間における活動

- ・ 生活時間の配分は、割合の高い順に、
男性は「睡眠」(33.4%)、「仕事」(20.4%)、「休養・くつろぎ」(8.3%)
女性は「睡眠」(32.6%)、「家事」(11.8%)、「仕事」(10.1%)
- ・ 平日における平均時刻は、起床時刻が6時40分、就寝時刻が23時7分

2. 生活行動

- ・ 「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は、39.7%(全国第8位)
種類別では「パソコンなどの情報処理」(15.8%)や「家政・家事」(14.4%)が高い
- ・ 「ボランティア活動」の行動者率は、24.2%(全国第4位)
種類別では「まちづくりのための活動」(13.0%)が最も高い
「安全な生活のための活動」(5.4%)の行動者率は、全国第1位
- ・ 「スポーツ」の行動者率は、67.2%(全国第6位)
種類別では「ウォーキング・軽い体操」(44.2%)が最も高い
- ・ 「趣味・娯楽」の行動者率は、86.4%(全国第8位)
種類別では「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」(52.8%)が最も高い
「日曜大工」(13.6%)および「陶芸・工芸」(2.1%)の行動者率は、全国第1位
- ・ 「旅行・行楽」の行動者率は、52.2%(全国第6位)
種類別では「行楽(日帰り)」(42.9%)が最も高い

Ⅱ 調査結果の概要

1. 生活時間

(1) 1日の生活時間の配分

令和3年(2021年)の滋賀県の結果について、行動の種類別に週全体平均による1日の生活時間をみると、1次活動が659分(10時間59分)、2次活動が419分(6時間59分)、3次活動が362分(6時間2分)となっています。

調査時期は、「新型コロナウイルス感染症対策まん延防止等重点措置」等の終了直後で、新型コロナウイルス感染症の影響による三密回避の日常化や数度の行動制限が行われていたため、生活時間の配分が変化し、新しい生活様式が浮き彫りとなるような結果となりました。

20年前の平成13年(2001年)の調査結果から今回の調査結果までの本県の推移をみると、1次活動は増加傾向、2次活動および3次活動は減少傾向であり、特に女性における1次活動の増加と3次活動の減少が目立ちます。(表1)

また、1日の種類別生活時間の配分について全国と比較すると、「家事」や「睡眠」、「身の回りの用事」、「休養・くつろぎ」等10項目が全国を上回りました。一方、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」や「食事」等5項目が全国を下回りました。全国との差が最も大きいのは、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」で全国比△19分となっています。(表2)

表1 男女別行動の種類別生活時間(3分類、週全体)(滋賀県)

(分)

年	1次活動						2次活動						3次活動					
	総数		男性		女性		総数		男性		女性		総数		男性		女性	
		前回調査比		前回調査比		前回調査比		前回調査比		前回調査比		前回調査比		前回調査比		前回調査比		前回調査比
平成13年(2001年)	632		624		640		426		424		429		381		392		371	
平成18年(2006年)	627	△5	624	-	631	△9	436	10	433	9	438	9	377	△4	383	△9	371	-
平成23年(2011年)	633	6	623	△1	642	11	427	△9	421	△12	432	△6	381	4	396	13	366	△5
平成28年(2016年)	643	10	635	12	650	8	422	△5	415	△6	428	△4	375	△6	390	△6	361	△5
令和3年(2021年)	659	16	648	13	670	20	419	△3	410	△5	428	-	362	△13	382	△8	342	△19

表2 種類別生活時間(週全体)(滋賀県・全国)

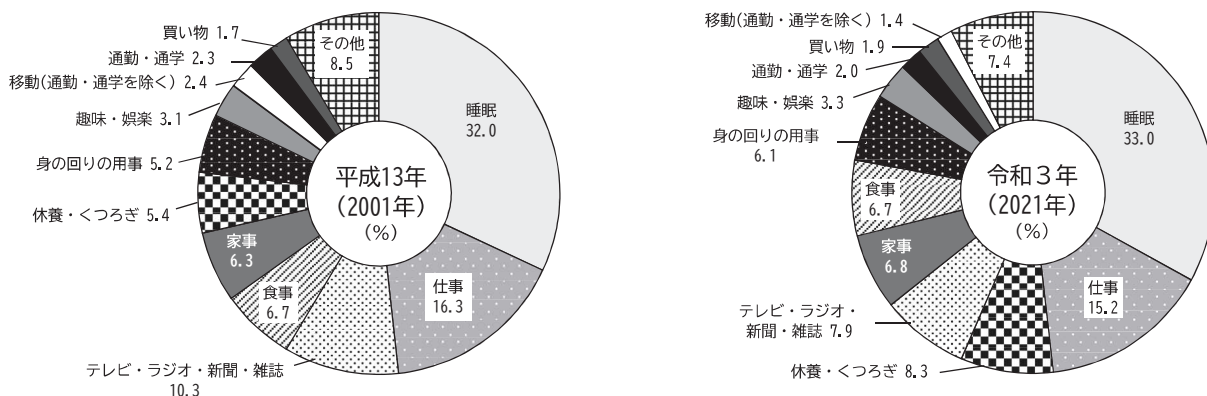
(分)

種類	1次活動			2次活動						
	睡眠	身の回りの用事	食事	通勤・通学	仕事	学業	家事	介護・看護	育児	買い物
滋賀県	475	87	97	29	218	26	98	3	16	28
全国	471	84	100	31	218	24	91	3	15	26
差(県-国)	4	3	△3	△2	-	2	7	-	1	2

種類	3次活動									
	移動(通勤・通学を除く)	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	休養・くつろぎ	学習・自己啓発・訓練(学業以外)	趣味・娯楽	スポーツ	ボランティア活動・社会参加活動	交際・付き合い	受診・療養	その他
滋賀県	20	113	119	11	47	13	3	10	7	18
全国	22	132	116	11	48	12	2	10	7	16
差(県-国)	△2	△19	3	-	△1	1	1	-	-	2

令和3年(2021年)の滋賀県の結果について、行動の種類別に週全体平均による1日の生活時間の配分割合をみると、最も多くの割合を占めているのは「睡眠」で33.0%、次いで「仕事」(15.2%)、「休養・くつろぎ」(8.3%)などとなっています。20年前の平成13年(2001年)と比較すると、配分割合が最も上昇したのは「休養・くつろぎ」で2.9ポイント、次いで「睡眠」で1.0ポイント上昇しました。一方、最も低下したのは「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」(△2.4ポイント)でした。(図1)

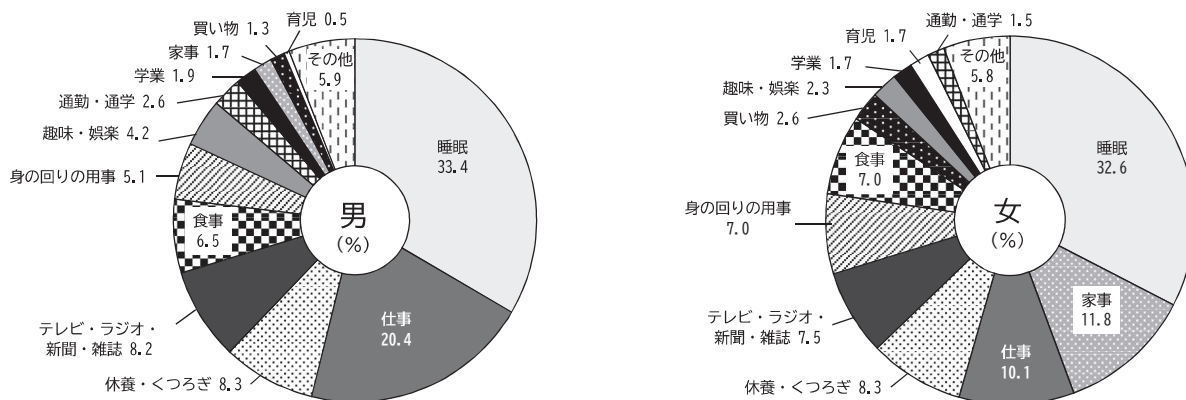
図1 主な種類別生活時間の配分割合(週全体)(滋賀県)



※その他：主な生活時間(平成13年、令和3年の両方またはいずれかで上位10位以内)を除いた計

令和3年(2021年)の滋賀県の結果について、男女別1日の生活時間の配分割合をみると、男性、女性ともに最も多くの割合を占めているのは「睡眠」でしたが、男性は次いで「仕事」(20.4%)となっているのに対し、女性は「家事」(11.8%)などとなっており、生活時間の配分割合に男女差があることがわかります。(図2)

図2 男女別主な種類別生活時間の配分割合(週全体)(滋賀県)



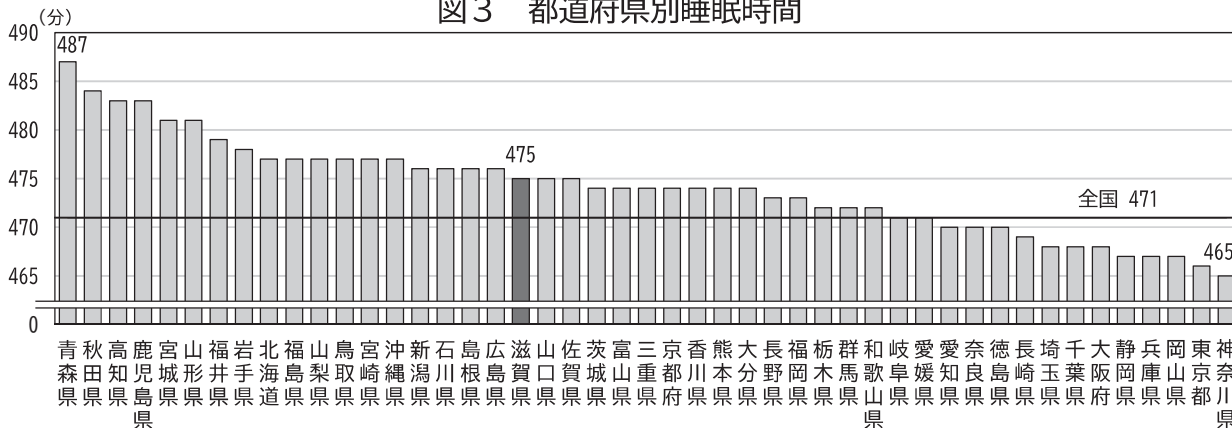
※その他：主な生活時間(男性、女性の両方またはいずれかで上位10位以内)を除いた計

(2) 睡眠時間

令和3年(2021年)の睡眠時間について、平日における平均時間を都道府県別にみると、滋賀県は475分(7時間55分)で、全国と比較して4分長い結果となりました。

睡眠時間が最も長い県は青森県で487分(8時間7分)で、その他にも上位に、秋田県や宮城県等の東北地方の県が入っています。一方、睡眠時間が最も短いのは神奈川県で465分(7時間45分)で、次に東京都など下位には大都市を含む都府県が入っています。(図3)

図3 都道府県別睡眠時間



(3) 家事関連時間

令和3年(2021年)の家事関連時間について男女別にみると、滋賀県は前回調査と比べて男性、女性ともに増加していますが、男性が5分、女性が15分の増加となり、5年前および10年前の調査時よりも男女差が拡大する結果となりました。

一方、全国は前回調査と比べて、男性は9分増加し、女性は6分減少したことから、男女差が縮小する結果となり、10年前と比較すると男女差が24分縮小しています。

滋賀県、全国ともに家事関連時間の男女差は大きく、滋賀県では約3時間、全国でも約2時間半の差がある結果となりました。(表3)

表3 男女別家事関連時間の推移(週全体)(滋賀県・全国)

(分)

		滋賀県					全国				
		家事	介護・看護	育児	買い物	家事	介護・看護	育児	買い物		
平成23年 (2011年)	男	45	21	3	5	16	43	19	2	5	17
	女	226	163	5	24	34	225	160	5	24	36
	差(女-男)	181	142	2	19	18	182	141	3	19	19
平成28年 (2016年)	男	46	19	2	7	18	45	20	2	6	17
	女	221	154	5	28	34	218	151	6	26	35
	差(女-男)	175	135	3	21	16	173	131	4	20	18
令和3年 (2021年)	男	51	24	2	7	18	54	26	2	7	19
	女	236	169	4	25	38	212	153	4	22	33
	差(女-男)	185	145	2	18	20	158	127	2	15	14

(4) 主な行動の平均時刻

令和3年(2021年)の滋賀県の結果について、主な行動の平均時間を平日と日曜日に分けてみると、起床時刻は、平日が6時40分、日曜日が7時12分で、全国と比較すると平日は少し遅く、日曜日は少し早くなっています。夕食開始時刻と就寝時刻も起床時刻と同じく、全国よりも平日は少し遅く、日曜日は少し早い結果となりました。朝食開始時刻は、平日、日曜日ともに全国よりも少し早くなっています。

男女別にみると、起床時刻は平日、日曜日ともに女性の方が早く、全国でも同様の結果となりました。朝食開始時刻については、平日は男性の方が14分早くなっていますが、日曜日の男女差は僅かです。夕食開始時刻については、平日は滋賀県で31分、全国で19分の男女差がありますが、日曜日は滋賀県で1分、全国で7分と男女差が小さくなっています。就寝時刻については、平日は女性の方が11分早くなっていますが、日曜日の男女差は僅かとなりました。(表4)

表4 主な行動の平均時間(平日・日曜日)(滋賀県、全国)

(時：分)

		起床			朝食開始			夕食開始			就寝		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
滋賀県	平日	6:40	6:46	6:34	7:07	7:00	7:14	19:03	19:19	18:48	23:07	23:13	23:02
	日曜日	7:12	7:24	7:00	7:41	7:41	7:42	18:32	18:31	18:32	22:46	22:47	22:45
全国	平日	6:38	6:43	6:32	7:12	7:05	7:18	18:58	19:08	18:49	23:06	23:08	23:04
	日曜日	7:19	7:25	7:13	7:43	7:40	7:46	18:37	18:40	18:33	22:58	22:57	22:59

令和3年(2021年)の主な行動について、平日における平均時刻を都道府県別にみると、滋賀県の起床時刻は6時40分で全国第42位となり、最も早いのは青森県の6時16分、反対に最も遅いのは東京都で6時59分でした。東北地方が早く、大都市を含む都府県で遅い傾向となっています。

朝食開始時刻は、滋賀県が7時7分で全国第21位となり、起床時刻が早い県が朝食開始時刻も早く、起床時刻が遅い県が朝食開始時刻も遅い傾向となりました。

滋賀県の有業者の出勤および帰宅時刻は、どちらも全国第39位で、出勤時刻は8時21分、帰宅時刻は18時35分でした。

夕食開始時刻は、滋賀県が19時3分で全国第40位となり、最も早いのは青森県の18時31分、反対に最も遅いのは東京都で19時18分、大都市を含む都府県で遅くなっています。

就寝時刻は、滋賀県が23時7分で全国第38位となり、起床時刻と同様、東北地方が早く、大都市を含む都府県で遅い傾向となりました。(表5)

表5 都道府県別主な行動の平均時刻(平日)

(時:分)

起床			朝食開始			出勤(有業者)		
順位	都道府県	平均時刻	順位	都道府県	平均時刻	順位	都道府県	平均時刻
1位	青森県	6:16	1位	富山県	6:56	1位	香川県	8:00
2位	岩手県	6:20	2位	山口県	6:58	2位	長崎県	8:01
2位	秋田県	6:20	3位	青森県	7:00	3位	長野県	8:02
4位	長野県	6:21	3位	岩手県	7:00	4位	静岡県	8:07
5位	富山県	6:23	3位	長野県	7:00	5位	宮城県	8:08
5位	宮崎県	6:23	∴	∴	∴	5位	栃木県	8:08
∴	∴	∴	21位	滋賀県	7:07	5位	宮崎県	8:08
∴	∴	∴	∴	∴	∴	39位	滋賀県	8:21
42位	滋賀県	6:40	∴	∴	∴	∴	∴	∴
43位	神奈川県	6:43	43位	千葉県	7:17	43位	富山県	8:23
44位	京都府	6:44	43位	神奈川県	7:17	44位	兵庫県	8:26
45位	福岡県	6:47	45位	大阪府	7:19	44位	高知県	8:26
46位	大阪府	6:48	46位	福岡県	7:21	46位	山梨県	8:29
47位	東京都	6:59	47位	東京都	7:29	47位	東京都	8:43
	全国	6:38		全国	7:12		全国	8:20

帰宅(有業者)			夕食開始			就寝		
順位	都道府県	平均時刻	順位	都道府県	平均時刻	順位	都道府県	平均時刻
1位	愛媛県	17:54	1位	青森県	18:31	1位	青森県	22:30
2位	高知県	17:56	2位	北海道	18:35	2位	秋田県	22:32
2位	鹿児島県	17:56	3位	秋田県	18:37	3位	岩手県	22:36
4位	香川県	17:57	4位	静岡県	18:39	4位	宮崎県	22:42
4位	宮崎県	17:57	5位	和歌山県	18:41	5位	山形県	22:43
∴	∴	∴	∴	∴	∴	5位	高知県	22:43
39位	滋賀県	18:35	40位	滋賀県	19:03	∴	∴	∴
∴	∴	∴	∴	∴	∴	38位	滋賀県	23:07
42位	埼玉県	18:41	42位	茨城県	19:05	∴	∴	∴
42位	大阪府	18:41	42位	大阪府	19:05	43位	福岡県	23:12
44位	愛知県	18:42	44位	埼玉県	19:06	44位	京都府	23:13
45位	千葉県	18:55	45位	千葉県	19:07	45位	神奈川県	23:17
46位	神奈川県	19:00	46位	神奈川県	19:08	46位	大阪府	23:19
47位	東京都	19:15	47位	東京都	19:18	47位	東京都	23:41
	全国	18:34		全国	18:58		全国	23:06

2. 生活行動

(1) 1年間の主な生活行動

令和3年(2021年)の滋賀県の生活行動の行動者率をみると、「学習・自己啓発・訓練」は39.7%、「ボランティア活動」は24.2%、「スポーツ」は67.2%、「趣味・娯楽」は86.4%、「旅行・行楽」は52.2%となっています。前回調査時の行動者率を滋賀県では全ての行動で下回り、全国では「学習・自己啓発・訓練」のみ前回は上回りました。

調査期間には「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」を含んでおり、感染症の影響による三密回避の日常化や行動制限により、前回調査となる5年前と比較して、自由時間における生活行動の状況について様々な変化を伴った結果となっています。(表6)

表6 生活行動の種類別行動者率の推移(滋賀県・全国)

(%)

	平成23年(2011年)			平成28年(2016年)			令和3年(2021年)		
	滋賀県	順位	全国	滋賀県	順位	全国	滋賀県	順位	全国
学習・自己啓発・訓練	39.2	3位	35.2	39.9	5位	36.9	39.7	8位	39.6
ボランティア活動	32.6	8位	26.3	33.9	1位	26.0	24.2	4位	17.8
スポーツ	67.9	2位	63.0	71.6	4位	68.8	67.2	6位	66.5
趣味・娯楽	86.6	6位	84.8	88.5	6位	87.0	86.4	8位	86.3
旅行・行楽	79.0	1位	73.2	77.6	5位	73.5	52.2	6位	49.5

(2) 学習・自己啓発・訓練

滋賀県の「学習・自己啓発・訓練」の行動者率について年齢別にみると、10-14歳が最も行動者率が高く、年齢が高くなるにつれて減少傾向にあり、全国も同様の傾向が見られます。(図4)

種類別にみると、滋賀県の男性は「パソコンなどの情報処理」、女性は「家政・家事」の行動者率が最も高い結果となりました。一方、最も低いものは、男性、女性ともに「英語以外の外国語」となっています。(表7)

図4 「学習・自己啓発・訓練」
年齢別行動者率(滋賀県・全国)

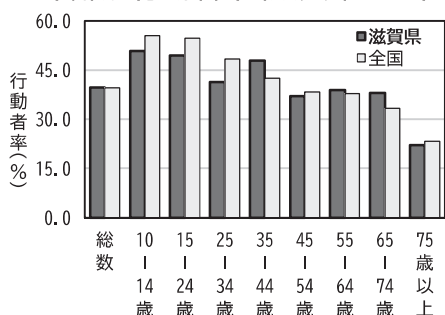


表7 「学習・自己啓発・訓練」
種類別行動者率(滋賀県・全国)

(%)

	英語	英語以外の外国語	パソコンなどの情報処理	商業実務・ビジネス関係	介護関係	家政・家事(料理・裁縫・家庭経営など)	人文・社会科学(歴史・経済・数学・生物など)	芸術・文化	その他
滋賀県	11.6	3.2	15.8	7.7	3.4	14.4	9.5	10.4	9.5
男	11.9	2.7	18.7	10.8	2.8	9.7	11.7	9.3	11.1
女	11.3	3.7	13.0	4.6	3.9	19.0	7.4	11.4	7.9
滋賀県順位(総数)	12位	22位	11位	12位	27位	9位	10位	12位	-
全国	12.8	4.2	16.5	8.5	3.6	13.5	9.8	11.2	7.9
男	13.5	3.5	20.1	11.5	2.8	9.1	11.9	9.7	8.3
女	12.2	4.8	13.0	5.6	4.4	17.7	7.8	12.5	7.6

(3) ボランティア活動

滋賀県の「ボランティア活動」の行動者率について年齢別にみると、65-74歳が最も行動者率が高く、10-34歳の若い年齢層では比較的行動者率が低い結果となり、全国も同様の傾向が見られます。35歳以降は、全国より行動者率が大幅に上回る結果となりました。(図5)

種類別にみると、滋賀県は「安全な生活のための活動」が全国第1位、「障害者を対象とした活動」が全国第2位、「子供を対象とした活動」が全国3位となっています。最も行動者率の高かった活動は、男女ともに「まちづくりのための活動」でした。(表8)

図5 「ボランティア活動」
年齢別行動者率(滋賀県・全国)

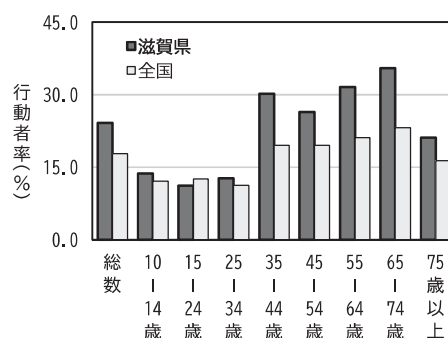


表8 「ボランティア活動」種類別行動者率(滋賀県・全国)

(%)

	健康や医療サービスに関係した活動	高齢者を対象とした活動	障害者を対象とした活動	子供を対象とした活動	スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	まちづくりのための活動	安全な生活のための活動	自然や環境を守るための活動	災害に関係した活動	国際協力に関係した活動	その他
滋賀県	2.3	2.9	1.2	6.2	3.4	13.0	5.4	3.6	1.3	0.6	3.4
男	2.4	2.7	1.0	5.8	4.6	15.0	6.8	4.2	1.7	0.8	3.3
女	2.1	3.0	1.3	6.5	2.3	11.0	4.0	3.0	0.9	0.5	3.6
滋賀県順位(総数)	11位	14位	2位	3位	4位	5位	1位	18位	4位	18位	-
全国	2.1	2.4	0.9	4.6	2.8	7.4	3.1	3.0	0.8	0.8	2.0
男	2.2	2.0	0.8	3.6	3.6	8.5	3.8	3.3	0.9	0.7	1.8
女	2.1	2.9	1.0	5.5	2.0	6.4	2.4	2.7	0.7	0.9	2.1

(4) スポーツ

滋賀県の「スポーツ」の行動者率について年齢別にみると、10-14歳をピークに減少傾向にあり、全国も同様の傾向が見られます。25-34歳は75歳以上に次いで2番目に低い結果となり、全国と比較しても5.1ポイント低くなっています。(図6)

種類別にみると、滋賀県は「テニス」が全国第2位、「剣道」が全国第3位などとなっています。最も行動者率の高かった活動は、男女ともに「ウォーキング・軽い体操」で、男性の約4割、女性の約半数が行ったという結果になりました。(表9)

図6 「スポーツ」

年齢別行動者率(滋賀県・全国)

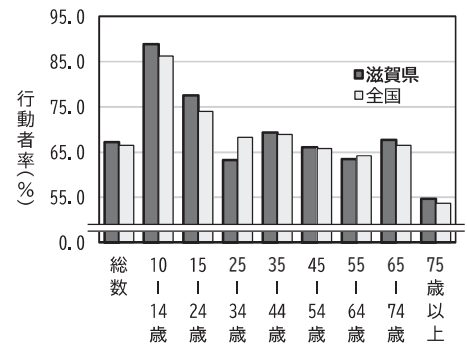


表9 「スポーツ」種類別行動者率(滋賀県・全国)

(%)

	野球(キャッチボールを含む)	ソフトボール	バレーボール	バスケットボール	サッカー(フットサルを含む)	卓球	テニス	バドミントン	ゴルフ(練習場を含む)	グラウンドゴルフ	柔道	剣道
滋賀県	6.6	1.2	3.4	3.4	4.3	4.4	4.5	7.0	7.0	3.4	0.5	0.8
男	9.9	1.6	2.8	4.6	7.2	4.8	4.8	5.8	11.6	3.5	0.5	1.1
女	3.3	0.9	4.1	2.3	1.5	4.0	4.1	8.2	2.5	3.3	0.4	0.4
滋賀県順位(総数)	13位	31位	31位	30位	25位	26位	2位	5位	17位	5位	7位	3位
全国	6.3	1.5	3.5	3.6	4.7	4.9	3.4	6.1	6.9	1.7	0.4	0.5
男	9.9	2.1	3.2	4.7	7.7	5.3	3.8	5.4	11.7	2.1	0.6	0.8
女	2.8	0.9	3.8	2.6	1.9	4.5	3.0	6.7	2.3	1.4	0.2	0.2

	ボウリング	つり	水泳	スキー・スノーボード	登山・ハイキング	サイクリング	ジョギング・マラソン	ウォーキング・軽い体操	ヨガ	器具を使ったトレーニング	その他
滋賀県	4.9	7.7	4.9	4.3	8.4	8.0	11.0	44.2	5.6	12.7	4.2
男	5.9	11.5	5.6	6.0	9.3	10.0	14.0	39.8	1.6	15.1	4.2
女	3.9	4.0	4.3	2.7	7.4	6.0	8.1	48.4	9.5	10.3	4.2
滋賀県順位(総数)	15位	32位	23位	10位	11位	7位	11位	13位	6位	12位	-
全国	5.1	7.8	5.7	3.2	7.7	8.2	11.1	44.3	5.5	12.9	4.6
男	6.3	12.1	6.2	4.3	8.4	10.5	14.9	40.3	1.6	14.8	4.7
女	3.9	3.7	5.1	2.3	7.0	6.1	7.4	48.2	9.3	11.1	4.4

(5) 趣味・娯楽

滋賀県の「趣味・娯楽」の行動者率について年齢別にみると、15-24歳をピークに25歳以降は減少傾向となっています。全国は10-14歳が最も高く、以降行動者率は減少しています。(図7)

種類別にみると、滋賀県は「日曜大工」および「陶芸・工芸」が全国第1位、「キャンプ」が全国第3位などとなっています。行動者率の高かった活動は、男女ともに1位が「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」、次いで「映画館以外での映画鑑賞」となっており、どちらも行動者率が5割を超える結果となりました。(表10)

図7 「趣味・娯楽」

年齢別行動者率(滋賀県・全国)

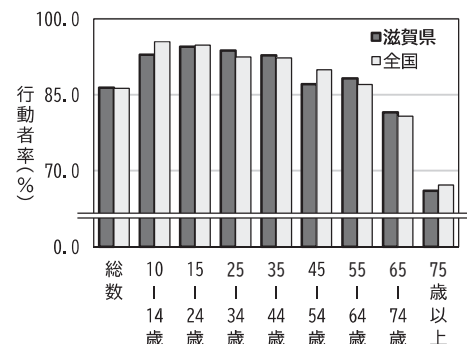


表10 「趣味・娯楽」種類別行動者率(滋賀県・全国)

(%)

	スポーツ観戦・観戦*6	美術鑑賞*6	演芸・演劇・舞踊鑑賞*6	映画館での映画鑑賞	映画館以外の映画鑑賞*7	コンサートなどによるクラシック音楽鑑賞	コンサートなどによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	楽器の演奏	邦楽(民謡、日本古来の音楽を含む)	コーラス・声楽	カラオケ
滋賀県	14.1	11.1	5.2	29.1	50.7	3.1	4.3	52.8	10.3	2.9	1.5	14.1
男	18.0	10.2	3.8	29.3	51.2	2.3	3.2	51.5	8.4	2.3	0.8	14.5
女	10.3	12.0	6.5	28.9	50.3	3.8	5.4	54.2	12.2	3.4	2.3	13.6
滋賀県順位(総数)	16位	18位	20位	14位	15位	30位	27位	9位	7位	12位	22位	8位
全国	14.5	11.4	6.7	29.8	52.7	3.9	5.9	53.5	10.2	3.0	1.7	13.5
男	18.2	9.8	4.9	28.8	53.0	3.0	4.5	53.3	8.4	2.8	1.0	13.3
女	11.0	12.9	8.4	30.8	52.4	4.8	7.2	53.7	11.9	3.1	2.3	13.8

	邦舞・おどろ	洋舞・社交ダンス	書道	華道	茶道	和裁・洋裁	編み物・手芸	趣味としての料理・菓子作り	園芸・庭いじり・ガーデニング	日曜大工	絵画・彫刻の制作	陶芸・工芸
滋賀県	0.9	0.9	3.8	1.8	0.9	5.5	9.2	20.1	27.8	13.6	3.9	2.1
男	0.6	0.3	3.0	0.3	0.3	0.5	1.1	8.9	19.9	20.9	2.5	1.8
女	1.1	1.5	4.6	3.3	1.5	10.3	17.2	31.1	35.4	6.4	5.3	2.4
滋賀県順位(総数)	23位	20位	12位	6位	17位	14位	10位	4位	21位	1位	4位	1位
全国	1.0	1.1	3.4	1.3	0.8	5.5	8.8	19.0	26.0	11.0	3.4	1.6
男	0.5	0.5	2.1	0.2	0.3	0.7	0.8	9.0	20.3	17.4	2.5	1.2
女	1.5	1.8	4.6	2.3	1.3	10.1	16.5	28.5	31.4	4.8	4.3	2.0

	写真の撮影・プリント	詩・和歌・俳句・小説などの創作	趣味としての読書(マンガを除く)	マンガを読む	囲碁	将棋	パチンコ	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	遊園地、動植物園、水族館などの見物	キャンプ	その他
滋賀県	21.8	2.1	29.1	37.1	0.4	3.0	5.7	43.9	16.9	7.3	3.7
男	19.1	1.7	26.7	42.2	0.7	4.8	8.8	48.1	16.0	7.9	4.3
女	24.5	2.5	31.4	32.2	0.2	1.3	2.7	39.8	17.7	6.7	3.2
滋賀県順位(総数)	8位	10位	16位	9位	47位	16位	36位	7位	17位	3位	-
全国	21.9	2.2	31.6	36.8	0.9	3.0	6.3	42.9	19.0	6.0	3.7
男	18.9	1.7	28.7	40.1	1.5	5.0	10.3	46.6	17.0	7.3	3.8
女	24.7	2.7	34.4	33.7	0.3	1.1	2.5	39.3	20.8	4.8	3.6

*6 テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く
*7 テレビ・DVD・パソコンなど

(6) 旅行・行楽

滋賀県の「旅行・行楽」の行動者率について年齢別にみると、35-44歳までの行動者率は60.0%前後で推移しており、45-54歳以降は減少しています。全国も同様の傾向がみられる結果となりました。(図8)

種類別にみると、滋賀県は「行楽(日帰り)」の行動者率が最も高く、全国平均と比較して男性は0.5ポイント、女性は4.2ポイント上回っています。1泊2日以上国内旅行では「帰省・訪問などの旅行」よりも「観光旅行」が滋賀県全体で約10ポイント上回る結果となりました。全国も同様の結果となっています。(表11)

図8 「旅行・行楽」年齢別行動者率(滋賀県・全国)

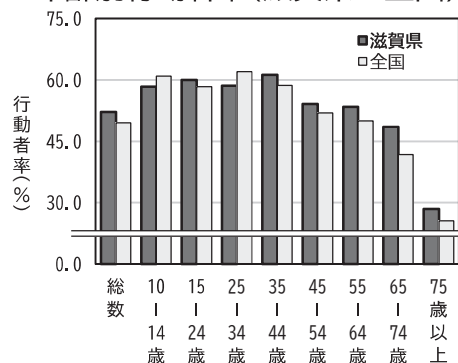


表11 「旅行・行楽」種類別行動者率(滋賀県・全国)

(%)

	行楽(日帰り)	旅行(1泊2日以上)		
		観光旅行(国内)	帰省・訪問などの旅行(国内)	観光旅行(海外)
滋賀県	42.9	25.8	15.9	0.6
男	40.6	24.7	16.2	0.7
女	45.1	26.9	15.6	0.6
滋賀県順位(総数)	7位	10位	9位	2位
全国	40.5	25.0	14.3	0.4
男	40.1	25.1	14.2	0.4
女	40.9	24.9	14.4	0.4